

国際学術講演会

日時:2013年12月16日(月) 10:40~14:30(2・3コマ)

場所:奈良女子大学 生活環境学部会議室(A棟1階)

申込不要・入場無料

10:40~12:10

百済寺院について—扶余と益山を中心に—

李炳鎬氏 (韓国国立中央博物館学芸研究官)

韓国では近年、三国時代に建立された仏教寺院の発掘が数多く行われている。発掘成果には、日本古代仏教の淵源を探るのみならず、東アジアにおける仏教の展開を知る上でも非常に重要な情報が含まれる。今回は特に、百済の王興寺(扶余)と弥勒寺(益山)について最新の発掘成果を紹介する。

13:00~14:30

唐代—文人の生活— —白居易と近年の発掘成果—

齊東方氏 (北京大学考古文博学院教授)

唐を代表する詩人、白居易の詩は、東アジア諸国で古来より広く愛読されてきた。白居易の詩には、胡旋舞や琵琶、喫茶など当時の風俗が多く詠み込まれており、それらの詩を通じて、唐代言人の生活が東アジアに知られたと推測される。白居易の墓、住居址やそこから出土した文物を取り上げ、詩の内容と対応させることで、唐代—文人の生活の実際を考察する。